

個別環境配慮事項の重要課題一覧（例示）

環境課題	重要課題か否か	取組内容 (中長期目標)	範囲	環境項目	目標とする項目	当年度 (×年度)		当年度環境負荷等 (×年度)		当年度 関連する財務情報 (×年度)	当年度活動結果と経営者による分析・ 次年度への課題	次年度目標 (×+1年度)	報告書 本文 記載頁	
						目標	実績	総量	原単位					
低炭素	◎	環境配慮製品の販売促進 (△年度までに連結ベース 売上高650億円、売上比 90%)	連結	CO2	環境配慮製品 売上高	40,000百万円 以上	43,000百万円	—	—	売上高(総額)	66,000百万円	【当年度活動結果と分析】 ＜取組内容＞ ・エネルギーコスト削減ニーズ喚起セールスの展開 により、環境配慮製品売上20%・70億円増加 【次年度への課題】 ・継続的ニーズ喚起セールスの実施と新市場の開 拓	環境配慮製品売上 50,000百万円以上	省略
					環境配慮製品 売上比率	60% 以上	65%	—	—	環境配慮製品 製造設備投資額	10,000百万円		環境配慮製品売上 80%以上	省略
	◎	使用段階における CO2排出量の削減	自社	CO2	顧客における CO2排出量	35万トン	37万トン	37万トン	0kg/台	—	—	省略	使用段階における CO2排出量 35万トン	省略
					顧客における CO2削減貢献量	△2万トン	△2.1万トン	—	—	顧客の経済効果 (年間エネルギー 使用量削減額)	10,000百万円	省略	3万トン削減	省略
	◎	環境配慮製品の 重点研究開発投資実施 (△年度までに連結ベース 研究開発費40億円、研究 開発品目 累計10品目)	連結	CO2	環境配慮製品 研究開発費	2,000百万円	2,200百万円	—	—	研究開発費(総 額)	5,000百万円	省略	環境配慮製品の 研究開発費 3,000百万円	省略
					環境配慮製品 開発品目	4品目	5品目	—	—	—	—	省略	環境配慮製品開発 新規3品目	省略
	◎	生産段階における GHG排出量の削減 (基準年××年度比10% 減 自社8万トン、連結15万 トン)	自社	GHG	生産工程における GHG排出量	7.2万トン	7万トン	7万トン	0kg/台	省エネルギー設 備投資額	00百万円	【当年度活動結果と分析】 ＜取組内容＞ ・高効率環境配慮設備導入による、GHG削減0.7 トン 【次年度への課題】 ・ABC工場における環境配慮設備の円滑導入	生産段階における GHG排出量 6.8万トン	省略
			連結		生産工程における GHG排出量	13.5万トン	13万トン	13万トン	0kg/台	省エネルギー設 備投資額	00百万円		【当年度活動結果と分析】 ＜取組内容＞ ・高効率環境配慮設備導入による、GHG削減0.9 トン 【次年度への課題】 ・XYZ社における環境配慮設備の円滑導入	生産段階における GHG排出量 12.5万トン
水	◎	製品1台あたり水使用量低 減	自社	水使用量	製品1台あたり 水使用量	□m ³ /台	◎m ³ /台	—	—	顧客の経済効果 (年間水使用量削 減額)	00百万円	省略	0m ³ /台	省略
	◎	排水リサイクル率の向上 (基準年××年度 30% △年までに 10%アップ)	連結	排水量	排水リサイクル率	40%	38%	190万m ³	●m ³ /台	排水リサイクル処 理プラント設備投 資額	00百万円	【当年度活動結果と分析】 ・排水リサイクル処理施設設置 【次年度への課題】 ・営業所における排水リサイクル施設の円滑稼働	排水リサイクル率 50%	省略